

ロングレンジ超音波センサ

概要

超音波デバイスを用いて、約8mまでの目標物体の距離と相対速度を測定するセンサです。
前方障害物に対する自動ブレーキシステムなどに適用可能です。

特長

- 1 超音波デバイスを用いた安価なセンサを提供
- 2 光や電波よりも低速な超音波を利用するため、高精度・高分解能な測定が可能
- 3 西日などの逆光や対象物の汚れ・色の影響を受けず、安定した検知が可能



ロングレンジ超音波センサ

ロングレンジ超音波センサ

適用技術

コーナーセンサで実績のある超音波センサにホーンを装荷することで、ロングレンジ化、及び路面反射等の不要な検知を抑制します。

当社独自のレーダ信号処理技術を用いて、風切り音や騒音などの雑音環境下においても、安定した検知性能を実現します。

搭載イメージ

センサの露出面積が小さいため、車両デザインへの影響を最小化できます。



ロングレンジ超音波センサ

適用アプリケーション

No.	機能	項目	目標仕様値	備考
1	低速自動ブレーキ	動作車速	4~30km/h	
		衝突回避可能速度差	20km/h以下	対象:前方車両
2	踏み間違い防止	動作車速	10km/h未満	対象:障害物、前方車両
3	前車発進報知	動作車速	停止時	前車が発進、かつ自車が停車時に報知